

令和4年度第3回沖縄県行財政改革推進本部会議 議事概要

- 1 開催日時 令和5年3月28日（火） 午前10時00分から11時00分
- 2 開催場所 県庁6階第2特別会議室
- 3 出席者 玉城知事（本部長）、池田副知事（副本部長）、島袋政策調整監
嘉数知事公室長、宮城総務部長、金城参事監兼企画調整統括監
金城環境部長、宮平子ども生活福祉部長、糸数保健医療部長
崎原農林水産部長、松永商工労働部長、宮城文化観光スポーツ部長
金城土木企画統括監、名渡山会計管理者、松田企業局長
我那覇病院事業局長、半嶺教育長、山城議会事務局長
茂太人事委員会事務局長、下地労働委員会事務局長
大城監査委員事務局長

4 議事

- ◆議 題 「新沖縄県行政運営プログラム（仮称）【最終案】」の決定について

5 概要

- ◆ 令和4年度第2回沖縄県行財政改革推進本部において決定した「新沖縄県行政運営プログラム（仮称）【素案】」を元に、1月26日に開催した第2回行財政改革懇話会における意見のほか、令和4年12月19日・26日に開催した、懇話会委員等、外部有識者等で構成する「専門委員会」で議論した意見等を踏まえ取りまとめた「新沖縄県行政運営プログラム（仮称）」の最終案について、概要説明、意見交換を行い、一部修正のうえ最終案を決定した。

◆【意見交換】

○実施項目16「県立病院の経営強化」について

（意見）

令和3年度実績の基準値には、これまでコロナの病床確保補助金等が含まれているという説明だったが、目標値にはその補助金等は含まれていないと考えられる。コロナの影響を除いた実態を示すため、参考値としてコロナの影響を受ける前の令和元年或いは平成30年度の実績値を基準値として示した方が良いのではないか。

（回答）

所管の病院事業局と検討する。

○実施項目17「PPP／PFIの推進」について

(意見)

大型MICE施設について、次年度には予算措置と条例制定が控えている。今回追記された「地元企業の参加」について相当のスピード感で取り組まないと公募手続に間に合わないと考えられる。他県の先進事例を調査し、どのような手法があるか早急に検討してほしい。

(回答)

大型MICEはWTO案件となるため、参加資格に地域要件を付すのは困難だが、地元企業がどのような形で参画するか、また選定時に地元企業の有無についてどう評価するか等、先進事例も調査し仕組みを検討していく。

○実施項目23「教育委員会における働き方改革・女性活躍推進と職場環境の整備」について

(意見1)

資料4 懇話会意見では、学校現場の状況について改善を求めている意見だと思うが、今回のプログラムではどのように反映されているのか。

(回答1)

プログラムで具体的に反映されている項目は無く、懇話会委員からの質問に教育委員会として答えた内容を資料4に掲載しているが、プログラムではメンタルヘルスに関連する取組・指標がある。例えば65ページの成果指標「公立小・中学校の正規率」や、「ストレスチェックの受検率」などで、それらの指標に目標値を立てて改善していくことで現場の状況改善に繋がるものと考えている。

(意見2)

メンタルヘルスの部分に関して、2月議会でも話題に上った新たな事業はプログラムに反映されているか。活動指標等に入れたほうが良いのではないか。

(回答2)

新たな事業は国の事業で、教職員が精神疾患に陥る要因を分析し、分析結果をもとに効果的な対策手法を構築するものとなっており、事業を実施することで関係するプログラムの各目標値の達成に寄与するものと考えている。活動指標での本事業の記載については検討する。

○実施項目18「ふるさと納税制度等を利用したクラウドファンディングの推進」について

(意見)

資料4で懇話会委員がこの実施項目について言及している。基準値がなく、実施指針もこれから策定ということで、この実施項目は新しい項目、取組だと認識しているが、「これまでの主な取組」欄にこれまでのふるさと納税の実績や考え方を記載するとともに、従来の返礼品を伴うふるさと納税の活用のみではなく、新たな活用方法等を検討していくということ等の方向性も記してはどうかと思う。各部局と情報共有しその方向性を早期に検討してほしい。

(回答)

事務局で検討していた内容は、ある事業の中の一部にこのふるさと納税を充てようという考え方だったが、懇話会委員からは、沖縄県の事業とは別で、例えば、離島の子ども達の大会遠征費用などにこのクラウドファンディングを充てる。そういったものがよりインパクトがあって、理解が得やすいと、寄付も集まるだろうという視点であったので、そのようなことも検討しながら、実施指針を作っていくたい。

以上